

1. 科目名 (単位数)	医療的ケア論 (2単位)	3. 科目番号	SNMP3109
2. 授業担当教員	山下 喜代美		
4. 授業形態	講義 演習 実技	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「医療的ケア実践論」と同時に履修すること		
7. 講義概要	医療的ケアを実施するための基本研修となる科目である。 医療的ケアに関連する法制度や倫理、関連職種との役割、救急蘇生法、感染予防、健康状態の把握など、医療的ケアを安全に、適切に実施するための基礎を学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療の倫理について説明できる。 2. チーム医療と介護職の連携について説明できる。 3. 感染予防について説明できる。 4. 無菌操作法での器具の取り扱いができる 5. 健康状態を把握し、急変時の状態が説明できる。 6. 救急蘇生法について説明できる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	課題1. チーム医療と介護職の連携について(レポート600字にまとめる) 課題2. スタンダードプリコーションについて(レポート600字にまとめる) 課題3. 救急蘇生法の手技をまとめる(レポート1000字にまとめる)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】武宮敏子監修『医療的ケア』ミネルヴァ書房、2013年 【参考書】久良木香監修『「たんの吸引・経管栄養」がスラスラわかるイラスト学習帳』服部万里子編著『介護職員のための今すぐ知りたい医療行為実技ガイド』		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療的ケアを実施するための法制度、倫理、関連職種との協働について理解できたか 2. 医療的ケアを実施するうえでの基本的な感染予防、健康状態の把握を理解できたか 3. 救急蘇生法を理解できたか ○評定の方法 [授業への積極的参加度、授業で行う豆テスト、期末試験を総合的に評価する] <ol style="list-style-type: none"> 1 課題 総合点の20% 2 期末試験 総合点の80% 知識の定着が必要な科目であるため、期末試験に重点を置く。またそのことで知識を身に付ける必要性を認識させ、学ぶ意欲を高めていく。 基本研修で義務づけられていることから、救急蘇生法を実施しなかった者は、単位を修得することはできない。		
12. 受講生へのメッセージ	介護福祉士に医療的ケアの実施が認められ、その基本研修となる科目です。 医療的ケアは、直接生命に関わるケアです。授業には真剣に取り組んでください。 授業への取り組み姿勢によっては、単位の修得を認めないこともあります。 実技は、修得できるまで何度も繰り返し行ってください。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス、授業概要の説明、 喀痰吸引とは何か、経管栄養とは何か 保健医療に関する制度 医行為に関する法律	事前学習	吸引、経管栄養とは何か、調べておく
		事後学習	医行為に関する法律についてまとめておく
第2回	個人の尊厳と自立 医療の倫理：医療の倫理、自己決定、説明と同意、個人情報保護	事前学習	テキスト pp.33～35 を読んで、医療倫理の概要をつかんでおく
		事後学習	倫理的ジレンマについてまとめておく
第3回	チーム医療と介護職の連携 記録と報告 (レポート課題1)	事前学習	チームにおけるコミュニケーションについて復習しておく
		事後学習	課題1
第4回	安全な喀痰吸引と経管栄養 喀痰の吸引と経管栄養を実施することに伴う危険性、安全な実施の重要性について リスクマネジメント リスクマネジメントの考え方と枠組み ヒヤリハット、アクシデント報告書について	事前学習	テキスト pp.52～53 を読み、リスクマネジメントの考え方を理解しておく
		事後学習	喀痰の吸引と経管栄養を実施することに伴う危険性をまとめる
第5回	感染症とは、感染の成り立ちとその予防 感染予防① スタンダードプリコーションについて、手洗い、ガウンテクニック (課題2)	事前学習	スタンダードプリコーションを復習しておく
		事後学習	課題2
第6回	感染予防② 地域集団、施設・組織としての予防策、療養環境の清潔、汚染物 医療廃棄物の処理	事前学習	テキスト p.73 表1-4-6を見て、施設内の環境整備を理解しておく
		事後学習	汚染物の処理方法をまとめる
第7回	感染予防③ 消毒法、滅菌と消毒、	事前学習	テキスト p.65 表1-4-1を読んで、用語を理解しておく
		事後学習	無菌操作方法の手順をまとめる

	無菌操作での器具の取扱い		
第8回	無菌操作での器具の取り扱いの実践	事前学習	無菌操作方法を復習しておく
		事後学習	無菌操作方法のポイントをまとめる
第9回	感染予防④ 職員の感染予防 感染の兆候	事前学習	実習の手引き pp.27～31 の感染症を復習しておく
		事後学習	感染の徴候についてまとめる
第10回	感染予防⑤ 喀痰の吸引 経管栄養に関する感染症とその予防	事前学習	喀痰の吸引、経管栄養とは何か、復習しておく
		事後学習	喀痰の吸引、経管栄養に関する感染症をまとめる
第11回	感染予防⑥ 気管カニューレ、吸引カテーテル 経管栄養チューブ イルリガートル の清潔保持	事前学習	テキスト pp.176～177 経管栄養に必要な物品をみておく
		事後学習	物品の清潔保持についてまとめておく
第12回	健康状態の把握 バイタルサインと健康状態の観察	事前学習	バイタルサインの正常値を復習しておく
		事後学習	観察のポイントをまとめる
第13回	急変時の対応 急変状態と観察 急変時の対応 救急蘇生法について学習する	事前学習	救急蘇生法について復習しておく
		事後学習	急変状態をまとめる
第14回	救急蘇生法の実際	事前学習	急変時の対応を復習しておく
		事後学習	救急蘇生法のポイントをまとめる
第15回	救急蘇生法の実際（課題3）	事前学習	救急蘇生法の手順を確認しておく
		事後学習	課題3
期末試験			